

令和6年度第3回宇都宮市民大学運営協議会会議録

1 開催日時 令和6年11月29日（金） 午前10時から

2 開催場所 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）

3 出席委員

丸山 純一 会長 野中 正知 副会長 赤羽 幸雄 委員 荒井 隆 委員
大谷 佳久 委員 片桐 幸枝 委員 齋藤 明彦 委員 坪山 恵子 委員
目加田 友子 委員

（以上9名）

4 欠席委員

薄羽 正明 委員

（以上1名）

5 出席職員

生涯学習課長	塚田 真仁
家庭教育・地域人材グループ係長	加藤 裕史
家庭教育・地域人材グループ総括	久保 孝弘
家庭教育・地域人材グループ社会教育主事	鈴木 豪
家庭教育・地域人材グループ主任主事	菊池 美咲
家庭教育・地域人材グループ主事	田中 大翔
家庭教育・地域人材グループ主事	釜井 羽依
家庭教育・地域人材グループ主事	金田 陽南子
生涯学習課会計年度任用職員	塚田 哲夫
生涯学習課会計年度任用職員	松永 佳寿子
生涯学習課会計年度任用職員	藤田 莉帆

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者の数 0人

8 付議事項

（1） 報告事項

- ・ 報告第1号 令和6年度宇都宮市民大学後期講師の実施状況について
- ・ 報告第2号 令和6年度宇都宮市民大学公開講座について

（2） 協議事項

- ・ 協議第1号 令和7年度宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座の決定について

（3） その他

（閉会 午前10時35分）

(1) 報告事項

野中委員	応募倍率にばら付きがあるが、その点について事務局の分析した内容を教えて欲しい。
事務局	幕末維新、宇宙、仏教美術の講座が定員を超えた。仏教美術と幕末維新は歴史講座ということもあり、市民ニーズも多いことが想定されていた。うるわしき宇都宮も定員わずかに届かなかったが、想定通りである。帝京大学との連携講座も60名と多くの方に受講いただいた。創作版画は定員の半分に満たなく、企画者のVスタッフとも相談した結果、タイトルから講座内容がイメージしづらかったという意見があった。今後は、講座内容が分かるような形で集客できればよかったと話している。
丸山会長委員	筑波に行き（館外学習）、47名が受講したとのことだが、バスは1台なのか。
事務局	バスは1台である。47名参加のところ、当日は37名が参加した。

(2) 協議事項

野中副会長	選考委員会の委員長として初めて選考にあたった。感想としては、とても勉強されている印象を受けた。レベルも高く、事務局に敬意を表したいと思う。宙企画講座が4つ、ともしび企画講座が3つ、七福神企画講座が1つ、個人2名から1つずつ企画があがった。今回は多くから選ぶのではなく、10個の講座から9個を選ぶ、言い換えると1つ落とすところを決めるため、心苦しいところではあった。
丸山会長	結果としては、各委員からの合計点数及び実現性が高い所を選定させていただいた。ぜひそういったところを踏まえ、ご審議いただければと思う。
丸山会長	これらの講座は、これから内容を練って来年の開講につなげていく形になる。現在9つの案が出ているが、こちらの9案で実施することに決定してよろしいか。（異議の声なし）
丸山会長	反対が無いようなので、承認とする。お手元資料の（案）を取っていただきたい。このほか市民大学の講座について意見はあるか。
目加田委員	七福人として企画したものが採用されて嬉しい。
丸山会長	運営ボランティアとして、版画の講座に全部参加している。日程が合うから出てみようと思ったが、出てみると本当に面白くて毎回楽しく通えた。浮世絵から日本の絵画に続くようなキャッチーなものを今後企画出来たらと思っている。
丸山会長	私も選考委員会の会長、委員をしたことがありますが、今回は応募自体が少なく、ただ、個人の方もみんな勉強してきていただいて、Vスタの人数が増えたり、活発できたり、グループ間の連携、それぞれのグループ名、同じグループ名が何年も続いてでてきますが、その中で世代交代、役割交代されているようで、引継ぎもあるようである。そのようなところが活発になったら、広がったら新しい分野の講座も出てくると思う。
	後は、各生涯学習センター等でも講座があり、そこで人気、反響があったものを市民大学につなげていくのもよいのではないだろうか。

(3) その他

丸山会長	事務局からその他連絡事項をお願いしたい。
事務局	来年度の第1回運営協議会の開催は例年どおり4月下旬を予定している。詳細は別途通知する。
丸山会長	以上で終了とする。